

事業コード	H29-建-継-11			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(交通安全)			部局課室名	建設部 道路課
事業種別	歩道設置事業			班 名	道路環境・維持班 (tel) 2488
路線名等	(主) 横手東由利線			担当課長名	参事(兼) 道路課長 石川 浩司
箇所名	横手市中山			担当者名	副主幹(兼) 班長 石川 康樹
プランとの 関連	政策コード	04	政 策 名	安全で安心な生活環境の確保	
	施策コード	03	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	快適で利便性の高い道路環境の整備	

## 1. 事業の概要

事業期間	H24 ~ H30 (7年)	総事業費	6.6 億円	国庫補助率	65.45																																																					
事業規模	延長L=1,350m 幅員W=6.0(11.0)m (1.25-3.00-3.00-1.25-2.5)																																																									
事業の立案 に至る背景	<p>○主要地方道・横手東由利線は、横手市内の国道13号を起点とし旧雄物川町の中心部を經由して由利本荘市東由利地内の国道107号へと至る、東西を結ぶ重要な幹線道路である。</p> <p>○当該区間は吉田小学校への通学路であるが、道路幅員が狭小で歩道も未整備であることから、大型車等のすれ違い時に児童が危険にさらされている状況にある。また、きついカーブが区間内に4箇所あり、自動車の走行環境としても厳しい区間となっている。</p> <p>○このことから、安全で円滑な交通の確保を図るため、地元から早急な整備を強く望まれている。</p>																																																									
事業目的	<p>○通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保)</p> <p>○大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくり支援)</p>																																																									
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>評 価 時</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>490,000</td> <td>659,000</td> <td>169,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>234,000</td> <td>344,808</td> <td>110,808</td> <td>軟弱地盤対策等による増</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>219,000</td> <td>251,099</td> <td>32,099</td> <td>建物調査結果による補償費の増</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>37,000</td> <td>63,093</td> <td>26,093</td> <td>軟弱地盤対策工法検討等による増</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>343,000</td> <td>431,316</td> <td>88,316</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td>132,100</td> <td>204,900</td> <td>72,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>14,900</td> <td>22,784</td> <td>7,884</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 歩道工</td> <td>調査・設計 歩道工</td> <td></td> <td></td> <td>国庫補助率の変更による</td> </tr> </tbody> </table>						計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	事業費	490,000	659,000	169,000		経費内訳	工事費	234,000	344,808	110,808	軟弱地盤対策等による増	用補費	219,000	251,099	32,099	建物調査結果による補償費の増	その他	37,000	63,093	26,093	軟弱地盤対策工法検討等による増	財源内訳	国庫補助	343,000	431,316	88,316		県 債	132,100	204,900	72,800		その他					一般財源	14,900	22,784	7,884		事業内容	調査・設計 歩道工	調査・設計 歩道工			国庫補助率の変更による
	計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等																																																						
事業費	490,000	659,000	169,000																																																							
経費内訳	工事費	234,000	344,808	110,808	軟弱地盤対策等による増																																																					
	用補費	219,000	251,099	32,099	建物調査結果による補償費の増																																																					
	その他	37,000	63,093	26,093	軟弱地盤対策工法検討等による増																																																					
財源内訳	国庫補助	343,000	431,316	88,316																																																						
	県 債	132,100	204,900	72,800																																																						
	その他																																																									
一般財源	14,900	22,784	7,884																																																							
事業内容	調査・設計 歩道工	調査・設計 歩道工			国庫補助率の変更による																																																					
事業の進捗 状況	<p>○平成29年度末での用地補償進捗率見込み100%</p> <p>○平成29年度末での事業進捗率見込み約89%</p> <p>○平成29年度末時点で、990m供用予定(平成28年度まで550m供用済,平成29年度440m供用予定)</p>																																																									
事業推進上の 課題	特になし																																																									
関連する計 画等	<p>○第10次秋田県交通安全計画(H29)</p> <p>○横手市通学路交通安全プログラム(H29)</p> <p>○農地集積加速化基盤整備事業(H23~H28)</p>																																																									
情勢の変化 及び長期継 続の理由	特になし																																																									
事業効果把 握の手法及 び効果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標 名</th> <th colspan="3">歩道整備率</th> <th>低減指標の有無</th> <th>○ 有 ● 無</th> </tr> <tr> <th>指 標 式</th> <th colspan="3">実績延長/道路延長</th> <th rowspan="2">データ等の出典</th> <th rowspan="2">道路課調べ</th> </tr> <tr> <th>指 標 の 種 類</th> <th>○ 成果指標</th> <th>● 業績指標</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目 標 値 a</td> <td></td> <td>40.0 %</td> <td></td> <td rowspan="3">把握の時期</td> <td rowspan="3">平成29年 4月</td> </tr> <tr> <td>実 績 値 b</td> <td></td> <td>39.4 %</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td></td> <td>98.5 %</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指 標 名	歩道整備率			低減指標の有無	○ 有 ● 無	指 標 式	実績延長/道路延長			データ等の出典	道路課調べ	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標		目 標 値 a		40.0 %		把握の時期	平成29年 4月	実 績 値 b		39.4 %		達成率 b/a		98.5 %																								
指 標 名	歩道整備率			低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																					
指 標 式	実績延長/道路延長			データ等の出典	道路課調べ																																																					
指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標																																																								
目 標 値 a		40.0 %		把握の時期	平成29年 4月																																																					
実 績 値 b		39.4 %																																																								
達成率 b/a		98.5 %																																																								

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○当該区間は旧雄物川町の中心部と横手市市街地を最短で結び、R107号及び横手大森大内線と合わせて横手盆地の横断軸を形成している重要な路線である ○吉田小学校の通学路として利用されているほか、バス路線でもあるが、当該区間は歩道が未設置であり、道路幅員も狭小(4.5m)であるため、児童等の安全確保のため、事業を実施する必要がある。	15点
緊 急 性	○自動車交通量が3,546台/12h（大型車497台/12h）と多く児童及び高齢者等が歩行する際に非常に危険な状態が続いている。 ○平成2年～21年で事故が13件発生し、平成2年には歩行者事故が1件発生した。 ○当該工区は、「横手市通学路交通安全プログラム」において、対策必要箇所として位置付けられており、早急に歩道の整備を実施する必要性のある箇所である。	30点
有 効 性	○通学路の危険箇所が解消され、安全性が向上する。 ○交通量に応じた車道拡幅を行うことにより、狭小区間が解消され安全性が向上する。	15点
効 率 性	○既設道路の拡幅部分がほとんどであり、新たな構造物整備を最小限に抑えてコスト削減を図っている。 ○現道拡幅のため、早期に事業効果が出現する。	10点
熟 度	○平成21年に横手市から歩道設置要望が出されている。 ○平成21年に地元集落から、歩道設置要望が出されており、これまでに進んでいる事業説明会でも事業に対して協力的であり、現在も状況に変化はない。	15点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III )	85点
	ランク I であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を継続すべきである。	
総合評価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。
----------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 交通安全事業（歩道）

事業コード (H29-建-継-11 )  
箇所名 (横手市中山 )

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	12時間自動車交通量		4,000台/12h以上	10	5	3,546台/12h (H27センサ)
			1,000台/12h以上	5		
			1,000台/12h未満	0		
	歩行者交通量		100人/日以上	10	5	通学路以外の場合 吉田小学校児童数12人 (往復24人)
			100人/日未満	5		
			学童・園児 40人/日以上	10		
			学童・園児 40人/日未満	5		
	歩道の連続性		計画区間前後に歩道あり	10	5	起点側歩道あり
			計画区間前後の一方に歩道あり	5		
			計画区間前後に歩道なし	0		
	計		30	15		
緊急性	関連事業の有無		あり	10	10	農地集積加速化基盤整備事業
			なし	0		
	事故状況（死傷事故）		歩行者の死傷事故あり	10	10	H2～H21で事故13件発生 うちH8に人身事故1件あり
			車両単独もしくは相互の死傷事故あり	5		
			事故の発生なし	0		
	交通安全総点検要対策箇所等		該当あり	10	10	横手市交通安全プログラムに基づく点検
		該当なし	0			
	計		30	30		
有効性	交通安全指定道路		あり	5	5	指定あり
			なし	0		
	通学路指定		あり	5	5	吉田小学校
			なし	0		
	公共施設 医療機関、公民館、図書館等		あり	5	5	中山部落会館、下郷会館
			なし	0		
	計		15	15		
効率性	供用開始までの期日		3年以内に供用開始可能であり効果の出現が早い	10	10	H30年度完成予定
			供用開始まで4年から5年の時間を要する	5		
			供用開始まで6年以上と相当時間を要する	0		
		計		10	10	
熟度	地元の協力体制		事業に協力的	5	5	協力的である
			用地反対等の問題あり	0		
	地元住民・関係機関の意向		採択時と比べて特段の変化がない	5	5	変化無し
			採択時と比べて低下が見られるが改善の見通しがある	3		
			採択時と比べて著しく低下し改善の目処が立たない	0		
	進捗状況		進捗が順調で計画どおりの完成が見込まれる	5	5	支障なし
		多少の阻害要因があるが解決の見通しがある	3			
		阻害要因の難易度が高く進捗の目処が立たない	0			
	計		15	15		
合計				100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		